

## 令和6年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

### 県南会場

#### 科目 ⑭安全対策・緊急時対応

- ◆ 日常的に事故が起きてしまう危険がある中で、事故などを未然に防ぎそのための安全対策を行っていくことが必要である。また、危険行為があったときに、ちょっとストップ、きちんと説明、さっと再開の、ちょ・きん・さの法則を学び、取り入れていきたいと思った。そして緊急時の保護者への対応や避難訓練では、やらなきゃいけないではなく、やりたいと思うような訓練を取り入れて、子どもたちに安全教育を伝えていくということが勉強になりました。
- ◆ 事故は必ず起こるということを忘れず、常に安全点検・確認を行うことが大事であり、状況・状態にあったチェックマニュアルを誰が見てもわかりやすい状態にする必要があると思った。事故を恐れるあまり、子どもたちの活動を制限してしまうことは、学童保育の本来の目的を果たせないと思うので、のびのび活動できるように、リスクマネジメントしながら子どもたちを見守っていきたいと思います。
- ◆ 現在、放課後児童クラブで勤務中ですが、今回の研修はとても興味深く考えさせられる内容でした。事故やケガの防止は事前に防ぐことができれば最善ですが、なかなかとっさの判断ができないときがあります。支援員同士のそれぞれの見守り、他の角度からの眼、注視が必要と分かりました。また、ヒヤリハットについて、他のクラブと情報共有でき、とても参考になりました。自分の身を守る能力を身につけることがとても大事だと思いました。
- ◆ 最近の異常気象などによる自然災害・事件・事故は予測を超えた次案が発生していると思います。今回の研修内容を踏まえて、保護者や地域との情報の共有、日常の点検事項、優先すべき課題などを考えさせられました。3つの眼。ヒヤリハット、ちょきんさの法則のお話では、緊急時対応や安全対策について、より身近に感じることができました。今後の事故等の防止につなげていきたいと思います。
- ◆ 安全対策については、誰かがやってくれているだろうと思っていると見落としが起きるので、気をつけたいと思いました。危険を考えるあまり、子どもの活動を制限しすぎると、成長を妨げることもあると学びました。そうならないよう、のびのび過ごさせることに配慮したいと思います。人相では不審者かどうか判断できない、人判断から場所判断への意識をもって行動したいと思います。